

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 ワンセルフあしかど			
○保護者評価実施期間	2025年 1月 14日		～	2025年 2月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数)	16名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 14日		～	2025年 2月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 25日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて個別の場所を提供し、落ち着ける環境を確保している。 清潔で心地よい環境を維持することに意識的に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> トイレや廊下の寒さ対策を工夫し、快適な環境づくりを意識している。 利用者の成長や安全面を考慮し、レイアウトを柔軟に変更している。 	<ul style="list-style-type: none"> 外遊びスペースの拡充や、近隣公園の利用機会を増やし、運動機会を充実させる。 電力供給の見直しや空調設備の改善を検討し、より快適な環境を提供する。
2	<ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が徹底されている。 支援会議を通じて、職員間で意見を交換し、業務改善に繋げている。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援計画作成時には、支援に関わる全職員が意見を出し合い、子どもの最善の利益を考慮している。 支援の振り返りを日々記録し、LINEなどを活用して迅速に共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援開始前の打ち合わせを強化し、職員間の情報共有をより円滑にする。
3	<ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援計画作成時に、子どもや保護者の意思を尊重し、最善の利益を考慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> 子育てに関する面談や助言を定期的実施し、保護者が相談しやすい環境を整えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 産後支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）を積極的に導入し、保護者の対応力向上を図る。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会の開催が十分ではなく、親同士のつながりを求める声の一部がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 送迎時の相談では時間が限られ、十分な支援ができないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 希望者にはじっくりと相談できる時間を確保する。
2	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場の狭さ 	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場が狭いことで保護者の皆様にはご配慮いただきありがとうございます。 	<ul style="list-style-type: none"> 新年度になる際には、再度お迎え時間のお便りやご注意いただきたい点など配布させていただきます。
3			